

経営協議会議事録
(平成28年度第3回)

平成28年9月16日（金）
13時00分から14時16分まで
法人本部3階「第一会議室」

議事

I 協議事項

- 1 平成28年度実績の組織評価に係る年度目標評価について
- 2 「山形大学基金」創設に伴う関係規程等の整備について

II 報告事項

- 1 平成29年度山形大学学部・研究科の改組について
- 2 平成27年度の実績に係る組織評価結果について
- 3 平成27事業年度及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングについて
- 4 平成27年度財務諸表の承認について
- 5 平成29年度概算要求概要について
- 6 各種事業への申請結果について
- 7 就職内々定状況（9月1日現在）について
- 8 平成28年度大学院入試について
- 9 職員の懲戒について

III その他

- 1 次回開催（11月14日（月））について

出席者

議長 小山清人
委員 有馬朗人 園部 稔 高橋まゆみ 町田 睿 吉本高志
安田弘法 久保田功 大場好弘 阿部宏慈 萩原 均 根本建二
監事 渡辺 均 竹内千春

列席者 総務部長 財務部長 教育・学生支援部長 エンrollment・マネジメント部長
小白川キャンパス事務部長 米沢キャンパス事務部長
施設部施設企画課長 企画部企画課長 飯田キャンパス事務部企画管理課経営戦略室長

欠席者

委員 相澤益男 上田準二 黒田昌裕

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告の後、前回議事録が確認された。

I 協議事項

1 平成28年度実績の組織評価に係る年度目標評価について

久保田委員から、平成28年度の実績に係る組織評価について、各キャンパスにおける年度目標を資料1-3のとおりとした旨説明後、年度目標の評価結果について資料1-1～1-2としたい旨説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・米沢キャンパスの入試倍率について、過去の実績を考慮し評価しているが、世界的な業績があり、優秀な学科もあるので、そもそも入試倍率が低いということはないのか。選抜を行う上でも倍率確保は重要になるため、今後、その点も含め検討願いたい。
(吉本委員)
- ・米沢キャンパスは大学全体の入学定員に対して約4割と人数が多いため、受験生の確保が難しい部分がある。倍率の向上については、大学全体への影響も大きいことから、引き続き努力していく。(議長)
- ・入学倍率の向上を目標とするより、卒業生がどのくらい山形に残ってくれたかという評価の方が、地方創生の観点からは大事ではないか。(町田委員)

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

2 「山形大学基金」創設に伴う関係規程等の整備について

阿部委員から、平成28年6月27日開催の本会議で報告した山形大学基金の創設に伴い、既存の基金を発展的に統合するため関係規程等を制定する旨、資料2に基づき説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・奨学金を就職してからすぐに初任給から返済することは、奨学生にとって負担であると思う。日本全体でこれまでの奨学金の在り方を考え直していかなければならないと思う。(高橋委員)
- ・世界的にも中間層の崩壊、所得格差が広がっている中で、奨学金が持つ意味は大きくなっている。大学は給付型奨学金制度を充実させていく方法を真剣に検討しなければならないと考える。併せて、この制度を上手く活用し、卒業後に県内就職することや、地方で学問を学び優秀な成績の学生には返済不要にするなど、地方創生に繋がる方策にもなると考える。(町田委員)

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

II 報告事項

1 平成29年度山形大学学部・研究科の改組について

議長から、平成29年度学部及び研究科の改組について、資料3-1に基づき報告があり、続いて大場委員から本件に係る高校教員を対象とした山形大学説明会の実施状況について、資料3-2に基づき報告があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・医学系研究科の定員充足率が低かったが、今回の改組によって改善されるのか。
(吉本委員)
- ・従来の医学系に加え、理学、工学など、他分野へ拡大した専攻を設置することで、充足率の向上も考慮している。(議長)
- ・山形県は農業県のため、農業経営を研究する学科やコースが重要であると考え。東北全体への波及効果も大きいので、力をいれていただきたい。(町田委員)

2 平成27年度の実績に係る組織評価結果について

久保田委員から、平成28年6月27日(月)に実施した平成27年度実績に係る組織評価の評価結果の集計及び当該結果に基づくインセンティブ経費の配分に関して、資料4に基づき報告があった。

3 平成27事業年度及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングについて

久保田委員から、平成28年8月29日(月)に文部科学省にて行われた平成27事業年度実績に係る国立大学法人評価委員会のヒアリングにおいて説明した本学実績の概要について、資料5に基づき報告があった

4 平成27年度財務諸表の承認について

萩原委員から、平成27事業年度財務諸表について、平成28年6月28日付で文部科学大臣から承認の通知があった旨及び主な収益額増減の要因について、資料6に基づき報告があった。

5 平成29年度概算要求概要について

萩原委員から、本学における平成29年度運営費交付金概算要求の概要及び国立大学法人における運営費交付金等概算要求額の概要について、資料7に基づき報告があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・若手研究者の正規雇用を増やすよう予算確保をお願いしたい。また、他大学でも理工学系学生の大学院進学率が低くなってきている傾向がある。日本人の研究論文が減っている状況もあり、若手研究者育成のためにも力をいれていただきたい。(有馬委員)
- ・若手研究者雇用の補助金は文部科学省で予算確保はしている。また、理工学系学生の本学大学院進学率は現状30%程度で、40%まで高める目標を定めている。(萩原委員)
- ・概算要求の評価指標の中に地域志向科目「山形から学ぶ」があるが、山形にある文化に学生が触れる機会を作っていただきたい。山形にある文化の過去を知り、現在を生き、未来へ繋げていくことが山形を誇りに想う気持ちを醸成するものであると考える。(高橋委員)

6 各種事業への申請結果について

安田委員及び大場委員から、平成28年6月27日(月)開催の本会議で報告した各種事業への申請結果について、資料8-1、8-2に基づき報告があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・ディプロマ・サプリメントは、学生が就職する際に、社会に対してどのような力を持っているか示すものであると思うが、社会から見ると非常にありがたい制度である。ただ、この方式が山形大学だけのものであると他大学との比較ができないということも考えられる。他大学とも相互に連携して、この山形大学方式を拡げていただきたい。(園部委員)
- ・企業とも意見交換しながら、この方式を確固たるものにしていきたい。(議長)

7 就職内々定状況(9月1日現在)について

安田委員から、9月1日現在の就職内々定状況について、学生からの報告を基に資料9のとおり取りまとめた旨報告があった。

8 平成28年度大学院入試について

大場評議員から、平成28年度秋入学が確定したことに伴い、各研究科における定員充足率について、資料10に基づき報告があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・経時変化で示していただきたい。(吉本委員)

9 職員の懲戒について

(「国立大学法人山形大学職員の懲戒の手続きに関する規程」
第32条第2項の規定により非公開)

Ⅲ その他

1 次回開催(11月14日(月))について

議長から、今回は11月14日(月)に開催することとしたい旨説明があった。

(配付資料)

前回	平成28年度第2回 H28.6.27議事録
資料1-1	年度目標評価(案)(平成28年度の実績に係る組織評価)
資料1-2	平成28年度の実績に係る組織評価 年度目標評価結果について(案)
資料1-3	平成28年度年度目標シート
資料2	山形大学基金規程等の制定について
資料3-1	山形大学学部・研究科の改組について
資料3-2	「高校教員を対象とした山形大学説明会」実施報告
資料4	平成27年度の実績に係る組織評価結果
資料5	「平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書」の概要
資料6	平成27事業年度財務諸表の承認について
資料7	運営費交付金の要求概要(山形大学)
資料8-1	各種事業への申請結果について(高大接続改革推進事業)
資料8-2	各種事業への申請結果について(産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム)
資料9	平成28年度卒業・修了予定者の内々定状況調
資料10	平成28年度大学院定員充足率について
資料11	職員の懲戒について(報告)

※回収資料